

聴いて感じて気付いて考える

学校が再開して3日目。子供達は、新しい生活様式の中で学校生活を送っています。驚いたのは、子供達の成長ぶりです。4月の当初は、朝、おうちの人に手を引かれて登校していた1年生が、今は1人で登校している姿等、学校が休業中の1ヵ月半の間にも子供達はそれぞれの場所で成長していたことがうかがえました。

授業では、友達の発言に耳を傾けて考えている場面も多くありました。この「聴く」ということは、とても大事です。5年生の音楽では、鑑賞の授業をしていました。「山の魔王の宮殿にて」を鑑賞して様子を思い浮かべる中で、「音がだんだん大きくなっているから魔王が近づいている」「同じ旋律が繰り返されている」等、音の重なりや強弱、速度に気付いていました。

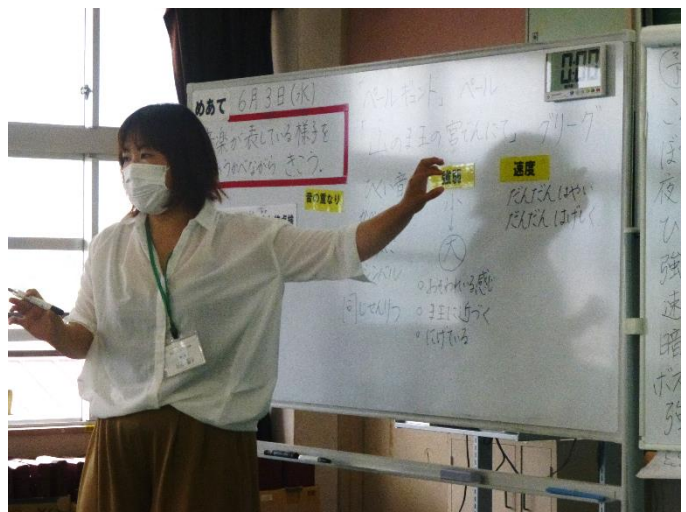
学校の授業では、このように友達や先生の発言を聞いて感じたり気付いたりする場面が多くあります。そのことが考えるきっかけにもなります。学校での学び、先生や友達との学びが今後も続くようにと願っています。



友達の発言を聴いて考える子供達



学校の「ふれあいの池」のスイレン



鑑賞を通して気づきを促す音楽の授業



音楽を聴いている(?) 音楽室前のつばめ



曲を聴いて、想像したり気付いたりする子供達